



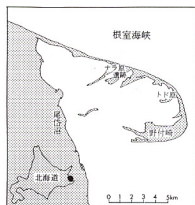
## 野付崎のトドワラ



塩性湿地植物アッケシソウの群落

根室海峡に突出する野付崎は、典型的な砂嘴地形である。野付崎の標高は数mに過ぎないが、樹齢数百年以上のトドマツやミズナラの原生林に覆われ、林には多くの整穴遺跡(統縄文期)が分布する。20年程前から、原生林のトドマツの立ち枯れが激しく、林の一部は塩性湿地となっており、アッケシソウ群落の侵入を許している。その原因としては、i) 海水準上昇や地盤沈下による地下水の塩水化、ii) 海岸工事の影響などが考えられているが、対策は講じられていない。野付崎の自然は、環境変化を敏感に察知している。

(首席研究官 大嶋和雄)



根室海峡に突出した野付崎



秋のトドワラ